

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートniconico(児童発達支援)		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 15日 ~ 2026年 1月 7日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年 12月 19日 ~ 2026年 1月 5日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 27日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・法人内保育園の職員とは情報共有や連携が取りやすく、支援について丁寧な対話ができる。またいつでも子どもの発達や様子を相談できる関係性である。	・隣接保育園には日頃から出入りし、子どもの様子を見るようになっている。また職員とも日常的な会話から子どもの情報を得るようにしている。	・法人外の利用者も同様の情報共有や連携を図っていく。
2	・活動プログラムが固定化しないよう必要に応じて支援後に振り返りを行い、子どもに合わせてプログラムを工夫している。	・支援終了後には、その日の子どもの様子、問題点、改善点等より良い支援につながるよう話し合い共有を行っている。	・子どもの興味や課題に合わせたプログラムのレパートリーを増やしていくよう、積極的な研修参加・自己研鑽に努めしていく。
3	・就学に向けての困り感を減らせるようにサポートを行い、生きる力をつけられるように取り組んでいる。	・園での様子をもとに、困りごとの解消に向けた一步をサポートしている。本人の「好き」という気持ちを大切にしながら、新しいことにも無理なく挑戦できるよう工夫し、少しづつ視野を広げていけるような関わりを心がけている。	・「できた！」のプロセスの記録や結果だけでなく、新しいことに挑戦しようとした瞬間を具体的に褒める仕組みを作り、本人の自己肯定感を高めていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・非常時発生の備えやマニュアル等について十分な周知ができていない。	・重要事項説明書を説明する際に、非常時の備え、避難訓練の有無などについてお伝えしているが、実際に訓練の場に遭遇する機会がないため、イメージしにくい。	・重要事項説明書を説明する際、丁寧で分かりやすい説明を心がける。またホームページからリンク付けし、マニュアルをいつでも読めるようにしていく。
2	・父母の会など活動支援や、保護者間の交流の機会がない。またペアレントトレーニング、研修等も行えていない。	・日々の業務（支援準備、直接支援）に追われ、研修等を行う時間が確保できていない。	・保護者から要望があった際には検討できる体制を整えておく。
3			